



Quantum Leap (量子跳躍・飛躍的進歩)

SCORは2019年半ばから2021年末にかけての新たな戦略計画である“Quantum Leap”(量子跳躍・飛躍的進歩)を発表しました。

“Quantum Leap”は2002年以降の“Back on Track”、“Moving Forward”、“Dynamic Lift”、“Strong Momentum”、“Optimal Dynamics”、“Vision in Action”に続くSCORの7番目の戦略計画です。

### “Vision in Action”は成功とともに完結

2016年7月に開始された“Vision in Action”においては、自然災害の増加、低金利の継続、米国の税制改革や地政学的不安定など、再保険業界に対する逆風が続きました。このような困難な環境にありながら、SCORは敏捷性と4つの基本原則、すなわち管理されたリスク引受意欲、高度な分散戦略、堅固な資本防衛方針と強固な事業基盤、により目覚ましい成果を挙げました。これらの基本原則は、グループのショック吸収力と長期的な価値創造の礎となるものです。

同計画では収益性と支払能力の目標値が達成され、平均ROEは9.5%(無リスク金利の876ベースポイント超)、平均ソルベンシー比率は最適範囲の上位に位置する平均219%に達しました。グループは目標とする地域と事業において、その地位をグローバルに拡大、深長しているといえるでしょう。

### 再保険業界は魅力的かつ見通しは積極的

再保険業界は、困難と機会の混在する、ますます複雑な環境下で帆を進めています。SCORは再保険は長期的な成長要素から恩恵を受ける魅力的な業界と考えます。この分野は強固な基盤を持ち、有利な原動力の恩恵を受けると期待できます。

- リスク・ユニバースは速度を上げて拡大しています。保険可能なリスク領域が大きくなる一方で不可能な領域は狭くなっているため、新規開拓領域は有利に動いています。とくに、新技術に伴い拡大するリスクは急速に保険可能となっています。
- 保険と再保険に対する需要は拡大しており、富裕化した国々では政府が再保険業の引受能力を拡大することで保険会社を後押ししています。
- 新興市場では（あるいは工業化された市場でも）、保険の普及がすすんでおらず保障ギャップが存在し、そのギャップの解消が保険・再保険の需要を支えることが予想されます。
- 再保険業界は、代替的資本のほか、IoT、ビッグデータ、人工知能、自動化、などのデータ関連技術に代表される技術・金融革新の恩恵を受けます。
- 再保険業界の革新の可能性は高く、進化する保険会社からの需要、規制の変化、リスクとその相関に関する知識の増大、保険会社のリスク・ポートフォリオに関する理解の深まり、などによって支えられます。
- 再保険業界、さらに特定して言えば分散効果を持つグローバル再保険会社は、長期にわたって保険金支払の急増や金融危機といった極度に不利な事象への耐性を持つことが実証されています。

このような環境下、SCORは独立したTier1グローバル再保険会社として、持続的な利益成長と長期的な価値創造を果たす高い可能性を持つと考えます。

**“Quantum Leap”により**、SCOR は年 4-7%の力強い成長を追求し、収益性と支払能力について等しい割合で、現在の金融・経済環境からみて野心的といえる目標を設定しました。

- 5年物無リスク金利を 800 ベーシスポイント上回る高い ROE
- 185%-220%を範囲とする最適ソルベンシー比率

“Quantum Leap”はグループの効率性を高め、IFRS4 号よりも経済価値ベースに即した会計である IFRS17 号への移行とともに、企業価値を具現化することを目的とします。

### **SCOR は技術進歩を統合し改革を加速します**

この計画は、明日の再保険会社を創ることを目的としています。SCOR は新技術、例えば人工知能、ロボット、ブロックチェーン、ビッグデータ、マルチ・クラウド、衛星画像などを活用して改革を進めます。世界中の顧客の利益に貢献するべく、提供する商品やサービスの革新・拡大、効率性の向上に努めます。

引受査定から資産運用まで、リスク分析から保険金支払まで、会社の全ての分野が含まれます。全ての SCOR の従業員がこの野心的で改革的な計画の達成を約束します。

SCOR は 2 億 5 千万ユーロを“Quantum Leap”の達成に投資します。グループは 3 つの柱に注力します。

- **デジタル革新において顧客に付加価値をもたらします**  
SCOR は新商品や付加価値のあるサービスを提案することで、再保険プロセスの鍵となる段階において革新的な再保険ソリューションを提供します。継ぎ目の無いデジタル処理、引受査定と分析の改善、保険金支払の自動化におけるロボット技術などが挙げられます。
- **収益性の高い新規ビジネス機会を拡大します**  
デジタル革新の追求において、SCOR は保険可能性の拡大に貢献します。SCOR グローバル損害再保険部門は保障ギャップ解消のため新商品や付加価値のあるサービスを開発し、SCOR グローバル生命再保険部門は全てのライフ・ステージで保険ソリューションによるセーフティ・ネットを拡大することを目指します。
- **5 つの主要分野においてデジタル対応能力を強化します**  
SCOR はロボット技術、E ビジネス、マルチ・クラウド、ビッグデータと人工知能に焦点を当てて、規模の利益、経営の俊敏さ、革新の統合を目指します。

“Quantum Leap” はグループの 3 つのエンジン部門それぞれの仮定に基づきます。グループ全体のグロス保険料収入は計画の期間を通じて年約 4%-7%の増加となる見込みです。

SCOR グローバル損害再保険部門は、持続可能な年 4%-8%のグロス保険料収入増と、同 6%-9%の新契約価値の増加を追求できる良好な位置にあります。同部門は、計画期間において 95%-96%のネット・コンバインド・レシオを予想します。

SCOR グローバル生命再保険部門は、全ての人々に長期的な価値の創造を目指して構築されます。同部門は米国における主導的な地位を維持する一方、アジアに重点を置き、またいくつかの欧州中東アフリカ市場に再注力することで投資寄与度の最大化とリスク分散を継続します。同部門は年 3%-6%のグロス保険料収入増を見込み、新契約価値増加率は年 6-9%、粗利益率は 7.2%-7.4%で推移すると見込んでいます。

SCOR 資産運用部門は、安定した投資家として、より良いリスク管理と良好な長期収益率を目指します。グループは計画期間中において、年 2.4%から 2.9%の運用利回りを予想します。

“Quantum Leap” は 2022 年に IFRS17 号適用準備のための移行期間を含みます。この新しい会計基準は、現在の会計基準である IFRS4 号に比べて、SCOR の価値と価値を創造する能力の認識により良く寄与するものと考えられます。

デニス・ケスラー会長兼最高経営責任者は、「現在のさらに確率論的かつ複雑な環境において、再保険業界の将来は、新技術とデータの管理・分析能力をいかに取り入れるかにかかっています。“Quantum Leap”計画により、**SCOR** は新しい環境に完全に適応し、将来の再保険会社像を創造するための変革をもたらすことを約束します。計画の遂行により、**SCOR** は成長と支払能力を動的に組み合わせて、皆様に長期的な価値を創造します。**SCOR** はこれまでの成功を培った基本原則に誠実であるとともに、新技術の強力な活用によって長期的な経済価値の創造を加速させます。」と述べております。